



# 高校生と一緒に考える 「未来を希望に」

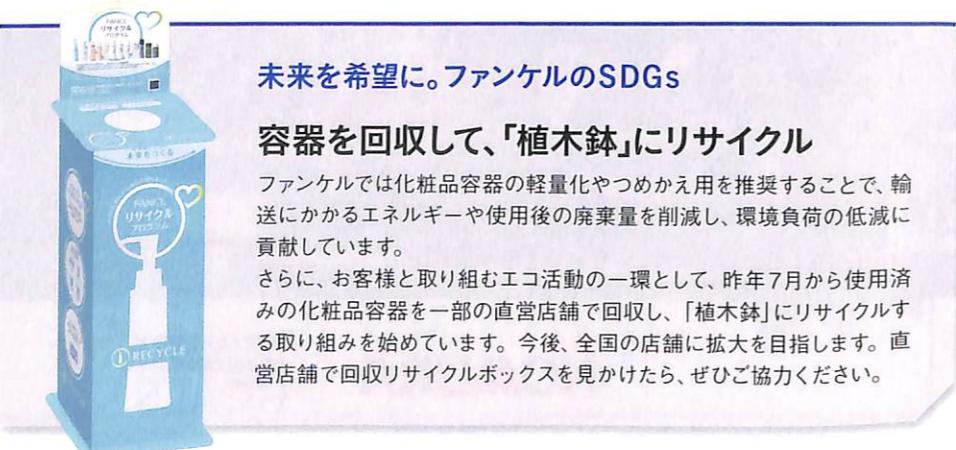
貧困や気候変動など様々な課題に向き合い、「持続可能な未来」をめざすSDGs。ファンケルグループも「サステナブル宣言」を制定し、積極的に取り組んでいる。その活動のひとつが、今回の「ファンケル 神奈川SDGs講座」だ。

photograph: Shiro Miyake design: Takayoshi Ogura



7月11日朝、川崎市立川崎高等学校、午前9時をまわると、1年生178名がタブレットを手に講堂へ入ってきた。これから90分間の「ファンケル 神奈川SDGs講座」が開催されるのだ。

回は弊社の研究員が講師を務めます」  
説明してくれるのは、ファンケル事  
業企画本部で講座の企画・運営を担当  
する岩本浩昭さん。会場では、自らマ  
イクを握って司会進行役も務める。  
講座がスタートした。最初はファン  
ケルSDGs推進室 中川亜衣子さんか  
ら、グレープの取り組みが紹介される  
「ファンケルの創業理念は、「正義感  
を持つて世の中の“不”を解消しよ  
う」というものです。いまSDGsで  
取り組んでいる飢餓や貧困、気候変動  
といった様々な問題、これも世界が直  
面している「不」ですね。これをな  
くさなければいけない。そこでファン  
ケルグループは2018年に『サステ  
ナブル宣言』を制定しました』  
「未来への不安」に立ち向かい、消費  
者、株主、従業員、取引先など、すべ  
てのステークホルダーとともに「希望」  
をつくる。宣言では「未来を希望に」  
というメッセージを掲げている。  
「SDGsでは17の目標を掲げていま  
すが、今日はその中の2番『飢餓をゼ  
ロに』と、3番『すべての人に健康と



未来を希望に。ファンケルのSDGs

容器を回収して、「植木鉢」にリサイクル

ファンケルでは化粧品容器の軽量化やつめかえ用を推奨することで、輸送にかかるエネルギーと使用後の廃棄量を削減し、環境負荷の低減に貢献しています。

さらに、お客様と取り組むエコ活動の一環として、昨年7月から使用済みの化粧品容器を一部の直営店舗で回収し、「植木鉢」にリサイクルする取り組みを始めています。今後、全国の店舗に拡大を目指します。直営店舗で回収リサイクルボックスを見かけたら、ぜひご協力ください。

ファンケルの  
SDGs講座に興味が  
ある方はQRコードで



基本は神奈川県内での  
実施になりますが、  
県外でもご相談に応じます。

提供:株式会社ファンケル <https://www.fancl.jp/>